

四国がんセンターにおける 治験・臨床研究への取り組み

- 急増する国際治験の対応 -

(独)国立病院機構 四国がんセンター

治験管理室 松久哲章、井口東郎



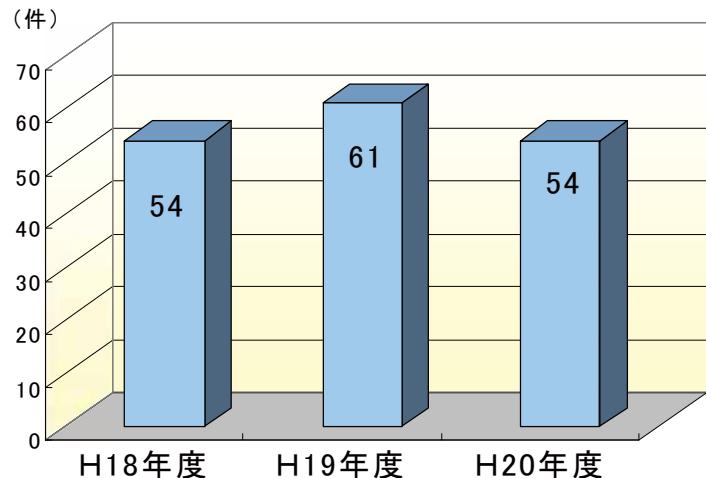
当院の特徴

- がん政策医療ネットワークの四国ブロック基幹医療施設
- 都道府県がん診療連携拠点病院
- 治験中核病院 -**国立病院機構**- の構成施設
- 臓器別の診断、治療
- がんの早期発見から終末期までの医療を提供
(PET-CTをはじめとした最先端の診断機器と高精度放射線治療装置の導入)
- 高度ながん薬物療法
- **CRC養成研修施設**
(医薬品総合機構主催・日本薬剤師研修センター実施、国立病院機構実施)
- 病床数;405床、医師数;84名
- 標榜診療科数;17

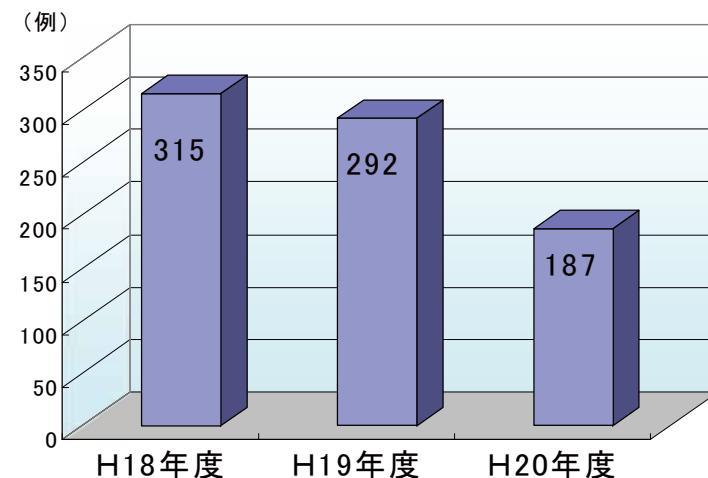


四国がんセンターにおける統計データ

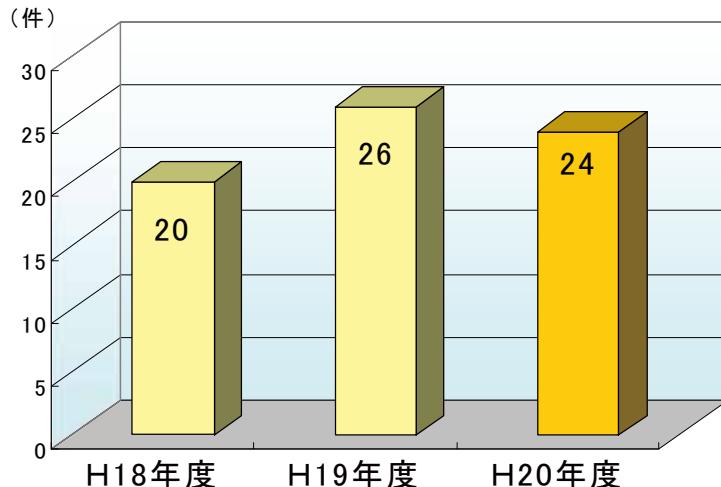
課題数



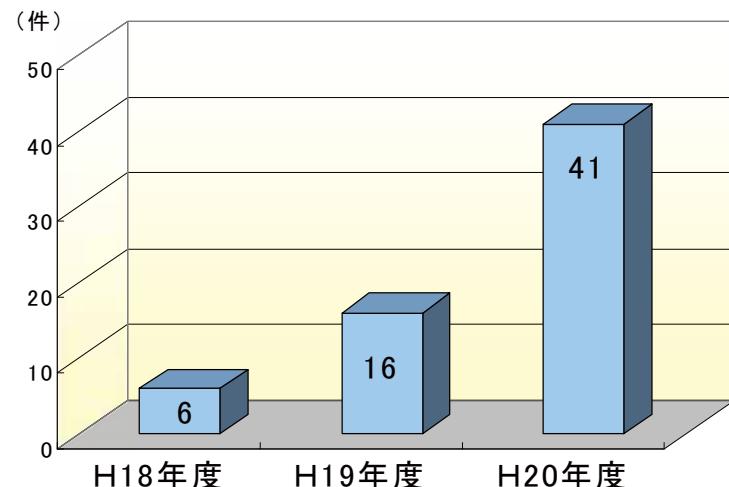
症例数(新規着手)



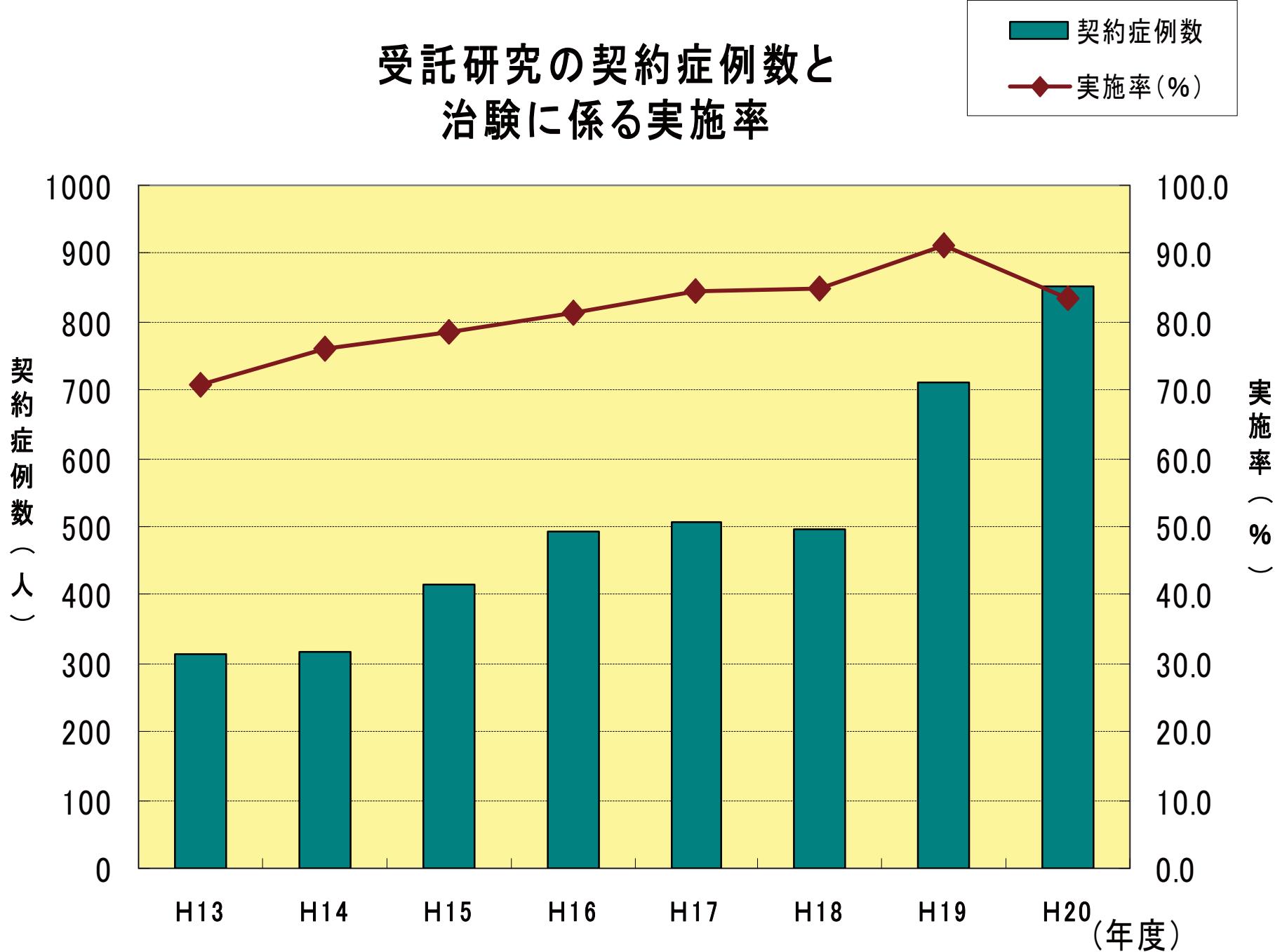
PK本数



遺伝子研究の本数



受託研究の契約症例数と 治験に係る実施率

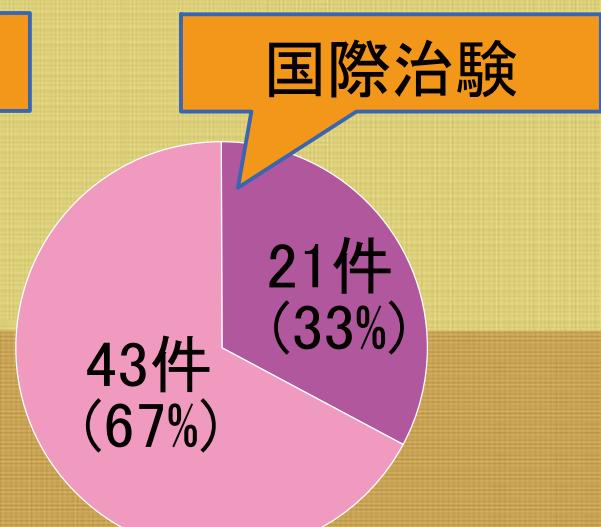
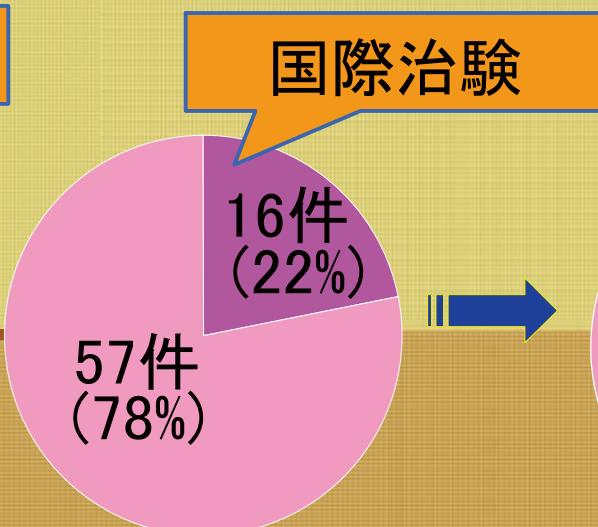
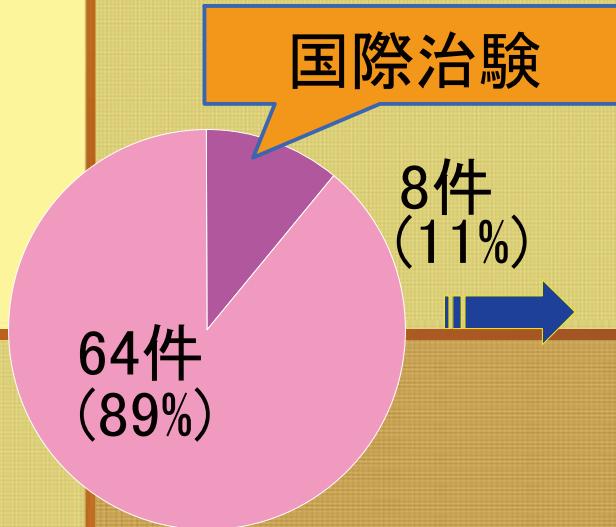


治験・製販後臨床試験における 国際治験の割合

平成18年度

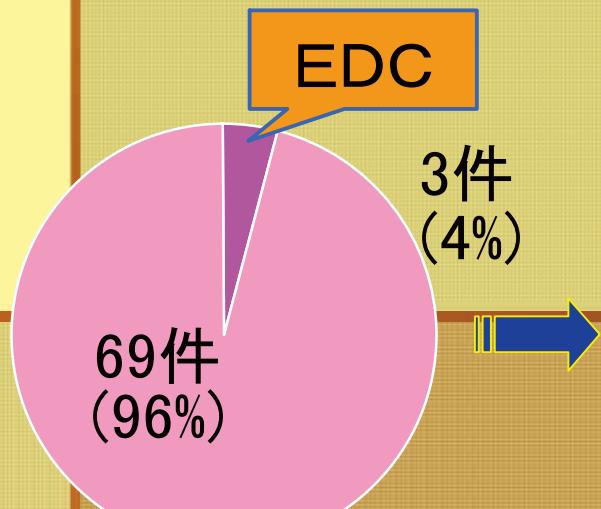
平成19年度

平成20年度

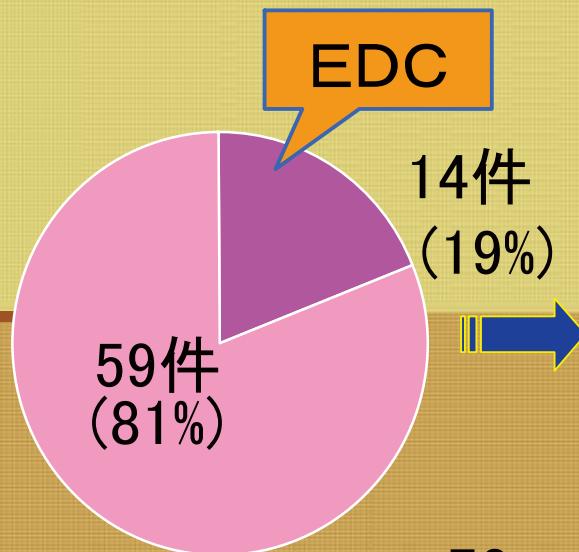


治験・製販後臨床試験における Electronic Data Capture (EDC)の割合

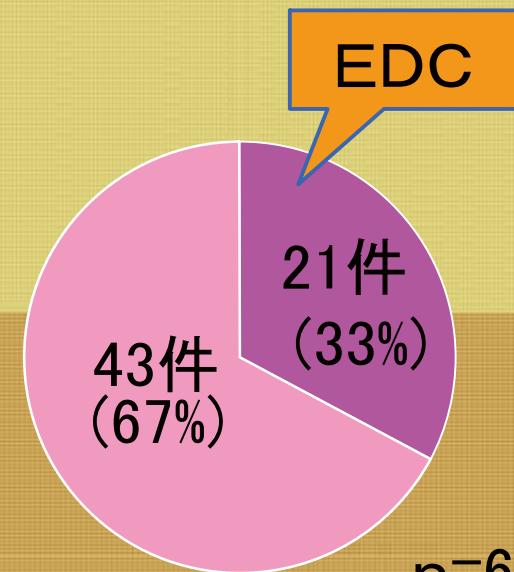
平成18年度



平成19年度



平成20年度



n=72

n=73

n=64

諸手続きの変更等に係る

Speed up !

- 統一書式への変更(H20年度);
 - ・従来からの、国立病院様式(H13年度)、国病機構様式(H16年度)を刷新(28種)
- IRBの毎月開催(H20年度)
- ハード整備;EDC対応のPCや国際電話回線の増設
- ソフト対応;スタッフ増員、特にCRC(検査技師)雇用
→薬物動態、遺伝子解析用検体の特殊な処理(血清分離、組織標本の提出等)

治験の国際化に伴う 諸対応について

- ◎EDC入力;スタッフの研修・人材確保、
労力に対する人件費の確保
- ◎画像情報の海外送付;放射線部門の協力
庶務手続の効率化
- ◎国際電話回線;設置及び運用の整備
納品連絡、厳重な温度管理
- ◎その他;限外濾過を用いる特殊検査の対処
書類の長期保管(15年間)

治験ネットワーク活動および 臨床研究の推進ほか

- 国立病院機構ネット、愛媛県医師会ネット、
愛媛大学病院関連ネット
- 臨床研究の推進
 - ・55件／年(平均、過去3年間)
 - ・厚生労働省科学研究費等の公的資金、
JCOG、WJOG、JGOGなど大規模臨床試験
 - ・**臨床研究支援室を設置(H20年度より)**
CRC;3名、事務局員;1名
- 全例調査を伴う市販後調査もCRCがサポート

* 国立病院機構の5施設における共同研究事業により、治験・臨床研究の推進に
向けて具体的方策を示し、実行し成果を上げることで、機構内の病院に対して
モデル的役割を果たす。

新たな治験・臨床試験の支援体制 (2009.7)

